

研修参加報告書

(会派名 月 山)

<研修目的>

安来市でも人口の減少が進む中、多少でも良い方策がないかを勉強するためのもの

<研修概要一覧>

研修月日	講演テーマ	講 師
2 月 11 日	人口減少時代における地域政策 「そんなに難しくない人口減少対策」	関東学院大学法学部地域創生学科 准教授 牧 瀬 稔 氏

<研修概要報告>

①地域創生の意味

まち、人、仕事創生法により、国は地方創生の取り組みを進めている。

東京周辺の人口集中を是正するためのもの

②日本の将来人口の推計

2010 年の総人口は 30 年間で 2078 万人の減少が推計されている。

③人口減少を勝ち抜く視点

住民の創造、顧客の創造、自然動態、出生死亡、社会動態、転出の抑制、転入の促進等、あらゆる方策を要する。

④地方創生の展望

自民党の政権公約から地方創生に対する一定のやる気が見える。地方創生はしばらく続く。

上記項目別に大きく分けての講義であり、2 時間あまりの研修であった。

<考察>

理論的にはよく理解できた。また、私の知っている内容も多々あった。内容は現在の状況説明が長く、具体策の説明時間が少なく、現実、安来市にできる項目は少ないと感じた。また、都市部での感覚が先行した講義に思えた。

人口を増加させるのは大変むずかしい事もよく理解できたが、安来市でもやってみたらと思うことが 2、3 あり、今後の議員活動の中で取り組んでみたい。